

# 聖母マリアこども園 自己評価

実施年月日 令和8年3月3日

大変よい	よい	一部要改善	要改善
------	----	-------	-----

自己評価項目	評価			
<b>1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について</b>				
①園の保育理念・保育方針・保育目標を理解し、共有している	○			
<b>2. 保育について(環境と内容)</b>				
①一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	○			
②年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定している	○			
③評価、記録を集積している		○		
④日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映している	○			
⑤園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		○		
⑥気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気・照度など配慮している		○		
⑦季節の草花や野菜を育てるなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		○		
⑧子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています			○	
⑨それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	○			
⑩保育についての話し合いをよくしている	○			
⑪報告・連絡により子どもの情報共有ができています		○		
⑫それぞれの役割を把握し、適切な動きができています			○	
⑬不適切保育への対応、話し合いができています	○			
<b>3. 行事について</b>				
①行事の種類や実施回数は適切である	○			
②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○			
<b>4. 食育について</b>				
①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		○		
②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている			○	
③調理担当者と子どものコミュニケーションが図れるようにしている		○		
<b>5. 健康管理・保健について</b>				
①日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている	○			
②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		○		
③乳幼児突然死症候群や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○			
④年齢別クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		○		
⑤室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ちよい環境に心がけている	○			

<b>6. 安全及び事故防止について</b>				
①避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○			
②事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		○		
③施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○			
<b>7. 職員の研修について</b>				
①園内・園外研修への参加体制の充実を図っている		○		
②研修報告を園内で実施している			○	
<b>8. 保護者支援について</b>				
①子どもの送迎時に子どもの様子を伝え合うようにしている		○		
②クラス懇談や個別懇談を実施している		○		
③入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		○		
④保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	○			
⑤掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		○		
<b>9. 地域交流についておよび対外交流について</b>				
①園庭を、地域の子育て親子等に開放している	○			
②職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	○			
③医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		○		
④中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		○		
⑤他園との交流や小学校との連携を行っている	○			
<b>10. 情報発信および情報管理について</b>				
①園だより、ホームページ等で情報発信に努めている	○			
②行事や子育て支援等を、地域に対して周知している	○			
③園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○			
④園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○			
<b>11. 運営について</b>				
①園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応が出来る体制がある	○			
②各種会議を適切かつ効果的に進めている		○		

### 総括

今年度、非常勤の先生に時間をかけ、全てのクラスに入ってもらい、全員が聖母マリアこども園の子どもたちの成長を支えていく意識を持つよう取り組んだ。結果、当初は苦労もあったが、行事等の準備から運営まで、一体感を持って取り組む事ができた。